

第4学年国語科学習指導案

日時 平成16年10月29日(金)5校時
児童数 男13名 女13名 計26名
授業者 佐々木 伸也
場所 2F 第4学年教室

- 1 単元名 「大事なことを落とさずに話し、メモをとりながら聞こう」
教材名 「電話で約束」 光村図書出版4年下 -

2 単元について

(1) 教材について

電話での会話は、一対一で行なわれることがほとんどである。そこでは受け手が、話すことを強制される場合が多い。また、顔が見えない状況で言葉だけでやり取りするのである。そのような特徴を持った通信手段である電話を教材として意図的に活動を組むことにより、話したり、聞いたりする力をつけていくことができると考える。

この教材を通し、児童に身に付けさせたい技能は三点ある。電話の受け答え方の一例、伝言のメモの取り方、電話で伝言をする場合の話し方である。

しかし、教科書では、受け答え方やメモの取り方、話し方の例が不十分である。それらを授業の中で補いながら指導していきたい。

(2) 児童の実態

4年生の児童は、授業中進んで発表しようとする児童が多い。また、落ち着いて友達の話や聞こうとする態度も見られる。

電話を使って会話をした経験はどの児童もあるが、家族との会話や友達との約束のための会話、担任との会話、目上の方からの伝言など場面は様々である。

しかし、普段から電話を活用している児童もいれば、経験の不足している児童もいる。また、電話での話し方でも個人差がある。例えば、目上の方からの電話を受ける場合の言葉遣いや伝言を受ける場合のやり取りの仕方などである。

9月に行った「十さいを祝おう」の教材では、一人一人が全員の前で、今夢中になっていることや頑張っていることなどについて1分間スピーチを行ったが、友達の前で話すことに抵抗を示す児童もあり、本単元の指導に当たって配慮が必要と考える。

(3) 指導にあたって

身に付けさせたい技能の個人差をなくすためには一斉指導を行い、話すことに抵抗を示す児童には原稿を見ながら話せるようなカードを工夫し活用したい。また、楽しい雰囲気作りを心がけ話したくなるようにしたい。

指導の流れは、第一次で電話の受け答え方について指導する。これは、目上の方から伝言をお願いされた場合の例を取り扱う。特に、メモを準備するための時間をつくることに注意させる。そうすることで、次時でどのようにメモを取ればよいかにつなげることができると考える。

第二次でメモの取り方を指導する場合は、良いメモの取り方を例示しイメージを持たせる。また、上手くできた児童のメモを全員に紹介する。

第三次では、伝言をお願いする時の話し方を指導する。その場合、大事なことは「ゆっくり話す・くり返す・確かめる」というキーワードを覚えさせたい。

第四次では、グループで伝言ゲームを行い、大事なことを落とさずに話したり聞いたりすることが定着するよう活動させる。グループは3～4人で、一人一人が伝言の内容を考えてメモにまとめてから話すようにさせる。

3 研究テーマとの関連

本単元は、本校の研究テーマ「自分の考えや意思を表現し、相互交流できる子どもの育成」というねらいに沿ったものである。自分が伝えるべきことを分かりやすく伝え、内容を正確に聞くという活動の中で、相手に繰り返し伝えたり、きき返したりすることにより、自然に自分と相手の間に交流が生まれる。

本単元を通して次の五つの言語意識を明確に位置付けていく。

相手意識	学級の友達に対して
目的意識	確実に伝言するために
場面状況意識	電話での会話練習や伝言ゲームの中で
方法意識	受け答え方・メモの取り方・伝言する時の話し方に気を付けて会話することで
評価意識	確実に伝言できたかを振り返る

4 単元目標及び評価規準

伝言の内容を、気を付けて聞いたり分かりやすく話したりする。

観 点		評 価 規 準	評価場面[分析方法]
関心・意欲・態度		・電話の受け答え方、伝言のメモの取り方、伝言する時の話し方を、練習場面で生かそうとしている。	・振り返りカード[記録分析] ・観察[発言分析]
能力	話す・聞く	・電話の受け答え方に気を付けて伝言を聞いている。 ・伝言で大事なことに気を付けて、メモに取っている。 ・伝言する時の話し方に気を付けて、相手に伝えている。 ・伝言ゲームを通して、話の内容を正確に伝えている。	・ワークシート[記録分析] ・観察[発言分析] ・振り返りカード[記録分析]
言語事項		・大事なことを伝えられるよう、相手に応じた速さで話している。	・観察[発言分析] ・振り返りカード[記録分析]

5 指導計画と評価規準[全4時間]

次	時	指導形態	学習計画	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	研究テーマとの関連
					A(十分満足)	B(概ね満足)		
一次	1 (本時)	一斉対話	・電話の受け答えの仕方を知り、伝言を受ける練習をする。	・電話の受け答え方に気を付けて伝言を聞いている。	メモを準備するための時間をつくる、くり返して確かめる、きき返すことを行い、伝言を確実にメモに取っている。	メモを準備するための時間をつくる、くり返して確かめる、きき返すことを行っている。	受け答え方の流れが書いたカードを見ながら話すようにさせる。	モデルの提示 自己評価
二次	1	一斉対話	・伝言のメモの取り方を知り、メモを取る練習をする。	・伝言で大事なことに気を付けて、メモに取っている。	大事なことを工夫して、確実にメモに取っている。	大事なことを短い言葉でメモに取っている。	聞いたこと全てを書くのではなく、いつ・どこでなど大事なことだけ書かせる。	モデルの提示 自己評価
三次	1	一斉対話	・伝言する時の話し方を知り、電話で伝える練習をする。	・伝言する時の話し方に気を付けて、相手に伝えている。	大事なことを「ゆっくり話す・くり返す・確かめる」という点を確実に入れて話している。	大事なことを「ゆっくり話す・くり返す・確かめる」という点を意識して話している。	相手にメモを取らせるようゆっくり話すことを助言する。	モデルの提示 自己評価
四次	1	グループ	・友達と伝言ゲームをする。	・伝言ゲームを通して、話の内容を正確に伝えている。	学習した内容を取り入れて正確に伝えている。	学習した内容を意識して正確に伝えている。	学習した内容を思い出させるよう助言する。	自己評価 相互評価

6 本時の指導

(1) 目標

電話の受け答え方に気を付けて伝言を聞くことができる。

(2) 具体的評価規準

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する児童への支援
メモを準備するための時間をつくる、くり返して確かめる、きき返すことを行い、伝言を確実にメモに取っている。	メモを準備するための時間をつくる、くり返して確かめる、きき返すことを行っている。	受け答え方の流れが書いたカードを見ながら話すようにさせる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 評 価
と ら え る 7 分	1 発音・発声練習をする。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 受け答え方に気を付けて伝言を聞こう。 </div>	声の大きさや口形に気を付けて練習させる。 実物の電話を用意し興味を引き出す。
み と お す 8 分	3 電話の受け答え方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・メモをじゅんぴするための時間をつくる。 ・相手が言ったことを、くり返してたしかめる。 ・聞き取れなかったところや分からないことはきき返す。 	教材文がどのような場面か、イラストを提示しイメージを持たせる。 電話の受け答え方を理解できたか。
ふ か め る 2 5 分	4 電話での受け答え方の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目 担任が話したことに対し、教材文を真似て受け答えをする。(全員で声をそろえながら。) ・ 2回目 担任が顔を隠した状態で受け答えをする。(全員で声をそろえながら。) ・ 3回目 聞き取れなかったところをきき返す。 ・ 4回目 分からないことをきき返す。 ・ 5回目～ 隣の児童と二人組で、一人が伝える側、もう一人が受ける側になり、伝える内容を自分達で考えて伝言の練習をする。 	電話の模型を用意し、電話で話している状況になりきって練習させる。 メモ用のワークシートを配布する。 みとおす段階で扱った内容を少し変化させて話す。 児童と顔が見えない状態にし、声だけで受け答えできるようにさせる。1回目とは内容を少し変化させて話す。 どのようにきき返せばよいか気付いた児童に発表させる。 1～4回目までは、一斉指導で行う。 ワークシートを用意し、伝える内容が考えやすくなるようにする。 伝える側と受ける側は交替で行うようにさせる。 制限時間まで繰り返し練習させる。 メモを準備するための時間をつくる、くり返して確かめる、きき返すことを行っていたか。

ま と め る 5 分	5 自己評価をする。 ・振り返りカードを書く。	早く終わった児童には友達のよかったところを書かせる。
----------------------------	--------------------------------	----------------------------

(4) 板書計画

